

ふじみ衛生組合新ごみ処理施設建設ニュース

vol 4 平成20年11月発行

ふじみ衛生組合（組織市：三鷹市・調布市）

施設見学会を実施しました。

平成20年10月23日（木）に実施した施設見学会に23名のご参加をいただきました。忙しい中ご参加いただきありがとうございました。

参加者の感想

- ・ 二ツ塚処分場では、焼却灰の完全リサイクル（エコセメント化）により資源活用と最終処分場（埋め立て処理）の延命化が図られており安心しました。
- ・ 柳泉園クラブ（ごみ焼却場）では、5年前に稼働した焼却施設でも悪臭の漏れはほとんどなく、煙突からの黒煙もなかった。清掃が行き届いており「きたない」というイメージが払拭されました。
- ・ 往復の車中では、「ごみを取巻く現況」や「施設整備実施計画の概要」について、クイズ形式を交えての分かり易い説明があり、知識が豊富になったり、建設への理解も深まりました。等々「より良い施設建設に期待するので、一層の努力をしてほしい」との激励の声をいただきました。

事業者選定委員会が始まりました

新ごみ処理施設は、実施計画において「PFI的手法^注」により「ふじみ衛生組合が敷地及び建設資金を用意し、民間事業者が設計から建設・運営まで一括して行う公設民営方式で実施する。」計画が示されています。

組合では、この方式による民間事業者の審査を実施するにあたって、事業者選定委員会を設置しました。委員会は、大学教授や弁護士・技術者等の学識経験者、三鷹・調布両市の職員及び組合職員で構成しています。審査の期間は、約1年間で、専門的、技術的見地から、応募事業者からの提案内容を検討し、評価した結果を組合に報告します。

会議は、原則として一般公開とし、9月と10月に2回開催されました。この会議では、応募を予定している民間事業者に示す方針として「ふじみ衛生組合新ごみ処理施設整備・運営事業 実施方針」等について議論されました。

実施方針は10月24日に公表し、詳細を「組合ホームページ」に載せています。

事業スケジュール

- | | |
|----------------|--------------------|
| (1) 特定事業の選定の公表 | 平成20年11月 |
| (2) 落札者の決定 | 平成21年8月 |
| (3) 建設工事着手 | 平成22年3月 |
| (4) 供用開始 | 平成25年4月 |
| (5) 運営期間 | 平成25年4月から平成45年3月末日 |

注 PFI（Private Finance Initiative）とは、これまでの公共側が主体で施設の計画、調査、設計から財源確保、建設、運営まで行っていた公共事業において、公共と民間の適正な役割分担により民間企業の資金及びノウハウを活用し、効率的に事業運営を行う。なお、ここでは、PFI方式に公設民営方式等を含め、PFI的手法としました。